

春の草原の植物観察会

高知市の皿ヶ峰は草原生植物の宝庫として貴重な存在になっています。特に市街地のすぐ近くに皿ヶ峰のような草地があることは全国的にも珍しく、注目される場所です。

かつては、草刈りや非意図的な山火事によって草原の植生が維持されてきましたが、近年は農家を取り巻く環境の変化に加え、山火事も起こらなくなり、残念なことに草原としての性質が徐々に失われています。

春から初夏にかけて草原に咲く植物を観察するとともに、草原としての機能を維持する方策を考えてみましょう。

主催 高知県自然観察指導員連絡会

日時 4月29日(月曜日・祝日)

午前9時から11時30分

場所 高知市皿ヶ峰一帯

(9時に皿ヶ峰登山口 筆山公園第2駐車場集合)

講師 稲垣典年さん

(元県立牧野植物園職員・高知県自然観察指導員連絡会会長)

定員 20名

持ってくるもの 筆記用具、あれば図鑑

参加費 無料

その他 雨天中止です。参加希望者は事前の申し込みをしてください。

【問い合わせ・参加申し込み先】

高知県自然観察指導員連絡会 坂本彰

TEL&FAX 088-850-0102 Mail s-akira@mvd.biglobe.ne.jp



春に咲く草原生植物 左からタツナミソウ・シバスゲ・コキンバイザサ・キンバイザサ